

日本基督教団 八ヶ岳教会 主日礼拝 NO.1263 2023年2月12日 10:30~

	牧師 山本護	司式 露木淳司	奏楽 山本恵美
前 奏	黙想		祈 禱
讃美歌	9 ちからの主を		讃美歌 II-156 めざめよ、わがたま
祈 禱			献 金
信仰告白	使徒信条 566		讃 詠 547 いまささぐるそなえものを
聖 書	エゼキエル書 13:5~7 マルコによる福音書 13:32~37		黙 禱 主の祈り 564
讃美歌	338 主よ、おわりまで		頌 栄 543 主イエスのめぐみよ
説 教	『目覚めて待ち続ける』		祝 禱 後 奏

「その日、その時は、誰も知らない。天使たちも子も知らない。父だけがご存じである(マルコ 13:32)」。とかく完全無欠で万能と思いがちなイエスだが、「その日がいつ来るかは俺も知らないんだよ」と言う。天使も知らないし、ただ神だけが御存知だ、と。神だけ知る「その日、その時」とは何であろうか。「終りの日」のことだ。何やら恐ろしげに聞こえるが、人間の破滅ではなく、神の創造が完成する時をそう呼ぶ。変革を嫌う安穩とした内向き社会では歓迎しないだろうが、イスラエルの民は「終りの日」の成就を数百年に渡って粘り強く待ち続け、神のその約束は後代の教会にも受け継がれている。

「しかし、ただひとつの日が来る。その日は、主にのみ知られている。そのときは昼もなければ、夜もなく、夕べになっても光がある(ゼカリヤ 14:7)」。こう象徴的にしか言い表せない。教会は「その日その時」をめざしてキリストに仕えているが、預言者の時代からもう二千数百年は経っている。まさか自分が生きている間には来ないだろう、と思っている。しかしイエスは、力を込めて私たちに迫る。

「あなたがたに言うことは、すべての人に言うのだ。目を覚ましていなさい(マルコ 13:37)」。短い語りの中でイエスは、4回も「目を覚ましておれ」と念を押す(13:33,34,35,37)。これだけ強調されれば、先延ばしにはできまい。それでは私たちはどういう心構えで「目を覚まして」いけばいいのか。私たちは仕事を割り当てられた僕あるいは門番(13:34)。主人は旅に出ていて(13:34)、いつ帰宅するか分らない(13:35)。だから主人がいつ帰って来てもいいように、常に目を覚ましていよ(13:36)、と。

この場合、主人とは神ではなく、終りの日に再臨されるキリストのこと。ただ当人でさえ「その日その時」がいつ来て、いつ帰れるか正直俺にも分らんのだよ(13:32)」と言う。キリストの旅程は未知であるらしい。そんな「その日その時」を「目を覚まして」待つには、どんな心構えでいけばいいのか。

「(主の日のために何もせず、ゼキエル 13:5)、彼らはむなしい幻を見、欺きの占いをを行い、主から遣わされてもいないのに〔主は言われる〕と言って、その言葉が成就するのを待っている(13:6)」。主は言われる」とすれば万事通りがいいし、人々は「欺きの占い」による幻想を欲している。だが目覚めていけば「むなしい幻」は見ない。偽預言者は、神にではなく、世の求めに答えている。御心に目覚めていない彼らは、「仕事を割り当てられた僕」ではなく、「僕としての責任」も持たされていない。

すべての教会がそうであるように、八ヶ岳教会もキリストの帰宅を待ち臨む僕で門番(マルコ 13:34)。目を覚ましてキリストの突然の帰宅を待つ者。「むなしい幻と欺きの占い(ゼキエル 13:6)」が横行する世にあって、目覚めてキリストのみを証しする教会。「主人が突然帰って来て、眠っているのを見つけるかもしれない(マルコ 13:36)」。教会は、世のむなしい幻と欺きの占いの中で眠りこけてしまったことが幾度もあった。それでもなおキリストは、私たちに仕事を割り当て、責任を持たせてくれている(13:34)。

愛され、赦され、私たちは一人残らず認められている。だが個人的な充足感だけに留まらない。「その日その時」のために、教会において大切な「仕事と責任」が今も授けられている。その日がいつ来るか分からないが、神が御存知だからそれで充分ではないか。生きながら待ち、死にながら待ちつつ。

年齢や健康状態のせいではない その時 その一日 その場を 妙にかけがえなく思うことがある
目覚めて待つリアルはそれに近いのか 幾らかの緊張と 落ち着きと 変化の流れの内にある空気感

礼拝後にトーチタイムの練習あり。2/18(土)1:30~3:30 メディカル・カフェ。2/19は分区全体で講壇交換、大木正人牧師(南甲府教会)が来訪。山本牧師は谷村教会へ。掃除は2/26礼拝後。2/14分区教師会。

礼拝堂・集会所の住所：408-0012 山梨県北杜市高根町箕輪 2265-3

連絡・問い合わせは牧師へ：408-0205 北杜市明野町浅尾新田 1324 TEL 0551-25-4008

メール komechan.olive@orange.zero.jp HPは「日本基督教団八ヶ岳教会」で検索して下さい。